

いじめ等防止マニュアル

坂田市立坂田西中学校

1、いじめの定義
「いじめ」とは、児童生徒に対して、当該児童生徒が在籍する学校に在籍している等、当該児童生徒と一定の人間関係にある他の児童生徒が行う心理的又は物理的な影響を与える行為（インターネットを通じて行われるものを含む）であって、当該行為の対象となった児童生徒が心身の苦痛を感じているものをいう。なお、起こった場所は学校の内外を問わない。

2、具体的な特徴
◇多くの場合は、個人対個人の「いじめ」でなく、集団によって弱い個人に向けられる。みんな(集団)でやったということから罪の意識が希薄で無責任な態度がとられやすい。
◇いじめることの中に面白さを求める気持ちが強く、相手の抵抗がないといじめの方に冷酷性が加わってくる。
◇「いじめ」は巧妙な形で行われ、外からは見えにくい、生徒同士の間では明らかに見えており、教室の中でも公然と行われている場合が多い。最近ではパソコンやスマートフォンを使用し、様々なSNS等であらかじめいじめめる対象者をしぼり、前触れもなく教室での「いじめ」が突然展開されるケースもある。
◇「いじめ」は「いじめた子」、「いじめられた子」の直接当事者だけでなく、これを周りで「面白がって見ている子」と「見て見ぬふりをする子」という四者が密接に絡み合っており、集団全体の中で起きている。周りの子は制止しようとすると、次に自分がいじめられる可能性があることから、見て見ぬふりをするのである。
◇今まで被害を受けていた者が、立場を替えて加害者になったり、加害者の側に加わっていた者がちよつとたきつけで「いじめ」の対象とされることもある。
◇部活内部での執拗ないやがらせ、悪口や活動の不満が部外弱者へのいじめと向かう場合がある。

3、いじめに対する共通認識
① いじめはどの学校にもどの教室にも起こり得る
② 本人がいじめと感じればそれはいじめである
③ いじめは絶対に許されない
④ いじめの重要性を全教職員が認識する。
⑤ いじめについての訴えや情報等は、疑わしい場合でも直ちに管理職に報告する。
⑥ いじめ問題解決のために、外部関係機関との連携を密にし、必要に応じて連携を図る。
⑦ 必要に応じて弾力的に相談体制を見直す。
⑧ 命と人権の取り組みは一体的である。

5、「いじめ」への具体的な指導・留意点

いじめられた子へ	① 相談、訴えを受けた場合には、共感的に全力で応じる。 ② 子どものよい面を認め励ます。精神面でくじけてしまわないように「先生は味方だ」の姿勢で接する。 ③ いやなことをされたり、言われたりしていたら、「ノー」と言う勇気や態度をとれるよう励ます。 ④ 勇気を持たせ、直接相手に自分の気持ちを伝えられるよう支援する。 ⑤ 保護者の思いを聞きとり、情報を共有し誠意を持って対応する。
いじめた子へ	① 他人への迷惑行為や暴力は絶対に許されないことを毅然とした態度で教える。 ② 自分の行為の非を悟らせ、相手の心の痛みを思いを寄せるように指導する。いじめは死に追いやる場合もあることを伝える。 ③ いじめられた子は、強いわだかまりを持ち続けることを実例をもって伝える。 ④ いじめた子が複数の場合は一人ずつ聞き取り、矛盾のないように整合性を確認する。 ⑤ 「いじめられた子も悪い」という言い分は聞き入れない。理由と行為を別に捉えて指導する。 ⑥ いじめた子への心からの謝罪ができるよう指導する。
すべての子どもに対して	① 同調者・傍観者を出さないために、日頃からいやな事はNOという力をつける。 ② 日常の授業等で自己肯定感を大切にし、他を認め合う人間関係づくりや人権感覚を培う場を作る。 ③ 仲間の問題は自分の問題としてとらえ解決を図っていくようにする。 ④ 相手を傷つける言葉については、断固とした態度で指導する。

(3, 4, 6, : 18教指第469号平成18年11月15日付参照)

4、いじめを見抜くチェックポイント(主に学校生活において)

学級の様子チェックシート	【子どもの様子チェックシート(1)】	【子どもの様子チェックシート(2)】
【チェック1 教師の言動】	【チェック1 休み時間】	【チェック4 続き】
<input type="checkbox"/> 子どもの言葉に耳を傾けている。	<input type="checkbox"/> 教室や図書館で一人であることが多い。	<input type="checkbox"/> 係や役割分担を決めるとき、特定の子どもに押しつけられる。
<input type="checkbox"/> 子どもの良さを見つけようとしている。	<input type="checkbox"/> 廊下や職員室のそばをうろうろしている。	<input type="checkbox"/> 特定の子どもだけに、配布物が渡されない。
<input type="checkbox"/> 人に迷惑をかける行為には毅然とした態度で対応している。	<input type="checkbox"/> 友だちと過ごしているが、表情が暗い。	<input type="checkbox"/> 特定の子どもが机や持ち物に触れることを嫌がる子どもたちがいる。
<input type="checkbox"/> 差別をせずに子どもに接している。	<input type="checkbox"/> 今まで一緒にいたグループから外れている。	
<input type="checkbox"/> 競争意識をあおったり、連帯責任に転嫁したりすることはない。	<input type="checkbox"/> 用事がないのに職員室に多い。	【チェック5 部活動・生徒会の時間】
<input type="checkbox"/> 個人のプライバシーを守っている。	<input type="checkbox"/> 周りから悪口を言われても言い返さない。	<input type="checkbox"/> 活動の準備や後片付けを押しつけられる。
<input type="checkbox"/> 一日に一回は会話するなど、どの子どもとの関わりを持っている。	<input type="checkbox"/> 服が汚れていたり、ボタンが取れていたりする。	<input type="checkbox"/> 声が小さい、足が遅いなどと非難される。
【チェック2 授業時間・学級活動】	<input type="checkbox"/> 保健室に行く回数が多い。	<input type="checkbox"/> 早退や欠席をしたがる。
<input type="checkbox"/> わかりやすい授業、充実感の持てる活動が行われている。	【チェック2 放課後及び下校時他】	<input type="checkbox"/> グループ分けで、うまく入ることができない。
<input type="checkbox"/> どの生徒の発言にも、耳を傾ける雰囲気がある。	<input type="checkbox"/> 下校が早い。またはいつまでも学校に残っている。	<input type="checkbox"/> 無理に仕事や係を押しつけられる。
<input type="checkbox"/> 困ったことも話題にし、本音で考え合うことができています。	<input type="checkbox"/> 玄関や校門付近で、不安そうな顔をしている。	<input type="checkbox"/> 一人で離れて活動する。
<input type="checkbox"/> 係が積極的に活動し、新しい試みを始めようとしている。	<input type="checkbox"/> みんなの持ち物を一方的に持たされる。	【チェック6 清掃時間】
	<input type="checkbox"/> 通常の通学路を通らずに登下校する。	<input type="checkbox"/> 特定の子どもが机や椅子をけったり、ほうきで叩いたりする。
	<input type="checkbox"/> 靴や持ち物がなくなる回数が多い。	<input type="checkbox"/> 特定の子どもが机だけが放置されている。
		<input type="checkbox"/> 集団から一人離れて清掃をしていることが多い。
		<input type="checkbox"/> 皆の嫌がる仕事をしていることがよくある。
【チェック3 日々の活動】	【チェック3 教室の様子】	【チェック7 給食時間】
<input type="checkbox"/> 失敗を許し合える雰囲気がある。	<input type="checkbox"/> 特定の生徒の作品が傷つけられていたり、放り投げられていたりする。	<input type="checkbox"/> 特定の生徒だけ盛りつけをしない。または多く盛りつける。
<input type="checkbox"/> 教室に明るい雰囲気がある。	<input type="checkbox"/> 特定の生徒の机がひっくり返ったり、ロッカーが荒らさたりする。	<input type="checkbox"/> 特定の生徒に盛りつけてもらうことを拒否する。
<input type="checkbox"/> 学級の小集団が閉鎖的でなく、互いに交流がある。	<input type="checkbox"/> ゴミの箱に、特定の子どもを持ち物が入っている。	<input type="checkbox"/> 特定の生徒だけがいつも準備や後片付けをしている。
【チェック4 他の教師・保護者との関係】	<input type="checkbox"/> 特定の子どもを持ち物が、なくなったり落書きされたりする。	<input type="checkbox"/> 特定の生徒だけがいつも準備や後片付けをしている。
<input type="checkbox"/> 会議の場で、生徒の様子について情報交換できている。	【チェック4 授業時間・学級活動の時間】	<input type="checkbox"/> 机を寄せて席を作ろうとしない。
<input type="checkbox"/> 日頃から生徒や学級の様子を気楽に話題にできる雰囲気がある。	<input type="checkbox"/> 遅刻、早退、欠席が多くなる。	<input type="checkbox"/> 笑顔がなく黙って食べている。
<input type="checkbox"/> 学年や学級の取り組みを保護者に伝え、理解されている。	<input type="checkbox"/> 以前に比べて声が小さかったり、ぼんやりしたりすることが多い。	<input type="checkbox"/> 配膳で並ぶ際、特定の生徒の前後だけ大きくはなれている。
<input type="checkbox"/> 日頃から、生徒の様子を保護者と連絡し合う関係ができています。	<input type="checkbox"/> 特定の生徒が指名されると、ニヤニヤする生徒がいる。	<input type="checkbox"/> 食欲がない。
<input type="checkbox"/> 金銭の貸借がないか、保護者、子どもに確認している。	<input type="checkbox"/> テストの成績が急に下がり始める。	
	<input type="checkbox"/> グループ活動のとき、一人だけ外れている。	

6、自殺予告への対応
(初期対応)
① 校長を中心に関係職員による対策会議を行い、予告内容を慎重に分析する。
② 全教職員が共通認識のもとで取り組む体制を確立する。
③ 予告者を特定しようとする場合は、慎重な配慮のもと迅速に行う。
④ 関係機関に迅速に報告する。
⑤ 関係した生徒は、専門家のカウンセリングを受けさせる。

7、防止のための日常的活動
① 仲間について良い面を見つけ認め合っていく学級をつくる。
② 発達段階に応じて、人間関係構築のための指導を積み重ねる。
③ 読み聞かせ等、日常的な心の醸成に努める。
④ 叩く、悪口を言う等、他者を傷つける行為をした時は見逃さずその場で注意する。
⑤ アンケート、チェックシートを使い、定期的の実態を把握する。
⑥ 職員のチームワークで校舎内外の日常観察をし、防止に努める。
⑦ 担任(主任)は、他からの情報を素直に受け入れる。報連相を大切にす。